

生年祝い

沖縄のトゥシビー祝い（生年祝い）とは誕生日とは違い、数え年の
13歳・25歳・37歳・49歳・61歳・73歳・85歳・97歳
と12年ごとに行われるもので、

十干十二支思想から来ています。昔の人々はこの生まれ年を厄年と考え、家の
守護神である火の神（ヒヌカン）や先祖の霊に厄払いの祈願をしました。

また、祝宴を開くと厄神が逃げていくと考えられていた為、にぎやかな祝宴を
開いたりしました。

しかし、今日ではトゥシビーを厄年とする考え方はうすれ、61歳以上の長寿
の祝いとする風習が一般化しました。

トゥシビーは旧暦の正月に生まれ年の日を選んで行いますが、97歳のカジマヤー
は一般に9月7日に行われます。

このほか88歳のトーカチというお祝いもあります。



トーカチスーヅの祝竹（旧8月8日）

花米は八升八合用意しておきます。

入れ物（バーキ・タライなど）に花米を入れ、形を
整えてから中央あたりに中の節々をくりぬいた竹を
三本高低にして飾り付けます。

カジマヤースーヅの祝飾り（旧9月7日）

その日は祝い座に風車をいっぱい飾って盛大にお祝いを
催します。

長寿にあやかるという意味で、招待したお客様に一本
ずつ差し上げます。

※米寿セット・風車取り扱っております。



テーブル用盛花

5000円～

